

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻88号
写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次
連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433
E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com
HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

冬の野鳥



耳を澄ますと、葉を落とした木々の間から何かの音が聞こえませんか。

2024年1月20日(土)
主催 **あつぎこどもの森クラブ**



このパンフレットのバックナンバーは右QRコードからダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

野鳥 どれが見えましたか

冬は落葉樹の葉が落ちているので、鳥の姿が見やすい季節です。
また公園の隣を流れる荻野川にはカモ類など冬鳥が翼を休ませに来ます。



モズのみ・♀ 胸の模様の特徴があります。左♂ 右♀ 腹の模様に注意

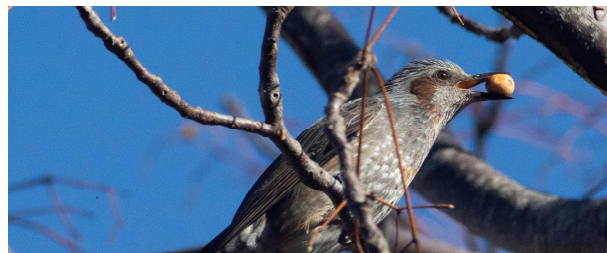


ムクドリ

p.2



ハシブトガラス
よく似たハシボソガラスがいます。



ヒヨドリ

くわえているのはセンダンの実



スズメ 最近数が減ったのではないかと
われています。

ホオジロ 飛んだとき尾羽に2本の白いすじが見えます。仲間のアオジやカシラダカも同じです。



イカル 「お菊にじゅうし」と聞き做しますが、皆さんにはどう聞こえますか。
「いいとこ来たな」と聞く人もいます。

p.3

少し足を伸ばして川に行ってみましょう



ダイサギ 首の長いサギは飛ぶときはs字のかたち仕舞っています。



アオサギ 大型のサギ ツルに間違えられることもありました。



セグロセキレイ

黒い顔に白いすじ
水辺に多い鳥で同じような大きさ、飛び方も似ていますが、鳴き声が違います。



ハクセキレイ

白い顔に黒いすじ



カワセミ

カルガモ 一年中います。



コガモ 冬に来る渡り鳥です。



トビ 国内のタカ類で最大の大きさ。ノスリに似ていますが翼の下側がノスリでは白く見えます。

森を作る 仲間を募集

ムササビの道脇にクヌギやコナラなどの植樹をします。

協力して下さる方募集中

2024年1月13日(土) 13:00から

(予備日) 2月17日(土)



左の写真はムササビの道入口付近で育つ林の様子です。

この林は2018年11月こどもの森フェスタ参加したみなさんが苗を植えたものです。植えた直後が下の写真です。



5年でこんなに育ちました。

この後の斜面はまだ荒地のままです。ここをみどりの森にしたいと思っています。

森はCO₂吸収源として地球温暖化を防ぐはたらきをします。またクヌギやコナラから出る樹液にはオオムラサキやカブトムシが集まるので楽しい場所にしてくれます。



カントリーヘッジ

伐採した木の枝など柵状に並べるものをいいます。ここは虫たちの冬越しの場にもなります。里山林などで林内の廃棄物を有効利用して、生物多様性を高める手法の一つです。こどもの森の中では柵にはしていませんが機能は同じです。

こどもの森ガイドウォーク(自然観察)原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	木の実を見つけよう	2024年	
7月15日	木もれ日の公園を歩く	1月20日	冬の野鳥
8月19日	湿地の生き物を調べる	2月24日	冬芽とコケ ← 次回
9月16日	草原の虫たち	3月16日	春の兆し
10月21日	秋の花		

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

すべり台下付近

東京農大学生による生き物調べお手伝い。生き物の展示もあります。

毎月 第1・第3日曜	10月~3月	13時	~15時
	4月~9月	14時	~16時



ホトケノザ 春の花ですが日だまりではもういっぱい咲いています。